

地元 群馬県での活動(2014年)

- 9月26日 高崎市医師連盟「羽生田たかし国政報告会」
27日 自民党群馬県連ソフトボール大会開会式
- 10月3日 群馬県商工会議所議員大会
4日 「シルクカントリー in富岡」記念式典「絹の国のお宝」表彰式
- 5日 北関東四市医師会親善野球大会
10日 安中市医師連盟「羽生田たかし国政報告会」
17日 前橋市医師連盟「羽生田たかし国政報告会」
18日 健康・省エネシンポジウムinぐんま
19日 館林市邑楽郡医師連盟「羽生田たかし国政報告会」
24日 伊勢崎佐波医師連盟「羽生田たかし国政報告会」
- 11月1日 藤岡市制施行60周年記念式典
2日 群馬県議会議員大手治之先生「県政報告会」
14日 吾妻郡医師連盟「羽生田たかし国政報告会」
15日 狩野県議グランドゴルフ大会開会式
16日 群馬県聴覚障害者福祉大会式典
18日 群馬県選出等国会議員と県下23町村長との懇談会
21日 桐生市医師連盟「羽生田たかし国政報告会」
30日 富岡市甘楽郡医師連盟「羽生田たかし国政報告会」
- 12月10日 高崎北ロータリークラブにて講演



羽生田たかし 国政報告会



今月の一句 ※皆様より一句お寄せください。

新年会 薬を看に はしご酒

～議員本人～

医学部は
新設ありきで 物申す
特区でなくとも できることばかり

～厚労担当記者さんより～

お詫び

前号にて、日本医師会常任理事 釜范敏先生のお名前に誤りがございました。訂正して、お詫び申し上げます。



羽生田たかしオフィシャルサイト

<https://www.hanyuda-t.jp/>



羽生田たかし

検索



公式アカウント
@hanyuda_takashi

メールマガジン配信中
info@hanyuda-t.jp/

お問い合わせ先：俊翔会事務局

東京都千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館319号室

Tel.(03)6550-0319 / Fax.(03)6551-0319

俊翔会(しゅんしょうかい)のご案内

羽生田たかしの政治活動を支援するための後援会「俊翔会」へのご入会をお願いいたします。

目的：我が国における社会福祉の発展と国民生活の質的向上を目的とし、羽生田たかしの政治活動を支援するとともに、会員相互の親睦を深めることを目的とする。

会費：年10,000円(一口)



ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

平素よりの皆様方のお支えにより、参議院議員として2度目の新年を迎えることができましたこと心より感謝申し上げます。

今後も、医師会での活動を礎に、医療現場の声、地域医療の現実をしっかりと国政へ届け、崩壊が危惧される医療制度を守っていく覚悟であります。

さて、昨年は医療と介護の一体改革という大きな変革の法律が成立いたしました。これに伴い都道府県ごとに地域医療計画が策定されているところです。各々の地域に見合ったメニューを作り、医療と介護の円滑な連携と充実を図るものですが、いざスタートしてみると各地においてこの計画の難しさが見えてきました。

また、國の方針として、検診の充実やセルフケアによって疾病予防や早期発見・早期治療に繋げ、重症化を遅らせて健康寿命の延伸を図るという取り組みもなされております。

一方で、現実には医療費削減が掲げられ、特区や経済財政諮問会議などにおいては安心や安全すら後回しで経済ありきの議論がなされ、日本の社会保障は制度崩壊の危機に直面しています。経済の食い物として医療が語られ、規制改革という名の利益相反が横行しているのです。

この国の医療・介護は、現場の献身的踏ん張りと使命感によって守られているといつても過言でない状態です。

医療や介護は、経済論や収益性・効率化や合理化だけ語ることのできない受け取る側と提供する側の信頼関係によって成り立つもので、根底には人と人が支え合う、そして医の倫理を伴う、自助・共助・公助によって成立するべきものであります。

今、日本が独自に築き上げてきた世界に誇れる国民皆保険すら制度を壊しかねない議論がなされています。

誤った情報によって未承認薬が素晴らしい魔法の効果を示す薬であるかのように語られ、国民に誤解を与えていた事は

羽生田 だより

新年号
5号



自民党

自由民主党群馬県参議院
比例区第八十二支部

羽生田たかし 国会事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館319号室
TEL:03-6550-0319
FAX:03-6551-0319

羽生田たかし 群馬事務所

〒371-0022
群馬県前橋市千代田町1-8-1
群馬メディカルセンター別館3階
TEL:027-289-8680
FAX:027-289-8681

問題です。

医師不足の名の下に、診療科目や地域の偏在という根底を是正しないまま、ただただ医学部を新設さえすればさも解決できるかのように語られ、人口減少・高齢化・少子化に対して適正医師数の議論もなく、特区で対応するとは将来を危惧するものであります。

是非とも医療・介護に関わる皆様お一人お一人に声を出していただき、我が國の医療・介護現場の実情にあった安全安心に暮らしていくける環境を担保していかなければなりません。健康に寿命を全うできる社会保障制度を構築し、この国に生まれて良かったと思える社会を築くため、後世につけを残すのではなく高齢者も社会参加をし続けられる制度を作り上げるべきです。

私も国政に送っていただいた責任と使命を果たすべく、しっかりと取り組んで参ることをお誓い申し上げ、新年の決意とさせていただきます。

本年も引き続きのご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

参議院議員

羽生田 俊

群馬県のマスコット『ぐんまちゃん』が
「ゆるキャラグランプリ2014」



第1位

委員会や本会議にも、
ぐんまちゃんバッヂを
着けて出席しています。



参議院委員会での活動

昨年秋の臨時国会より、参議院厚生労働委員会理事に就任いたしました。

◇11月4日 参議院厚生労働委員会 参考人質疑

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する法律案について参考人に対する質疑を行い、全国47都道府県のうち9県には感染症の治療ができる医療機関がない現状や研修コースを受講された専門家など人材の不足、また防護服の数も不足している等、対策の必要性を指摘しました。

◇11月6日 参議院厚生労働委員会 附帯決議

感染症改正案の附帯決議についても、厚生労働委員会理事の附帯決議担当として与野党間の調整や修文に奔走し、委員会では提案者を代表して附帯決議の読み上げを行いました。

◇11月11日 参議院厚生労働委員会 一般質疑

○地域包括ケアにおける有床診療所の役割の重要性に鑑みて、スプリンクラーの補助が工事費の高騰など決定時の補助金額ではなく足りない状況であることから、補助制度の更なる充実を求めました。



○塩崎厚生労働大臣に対し、地域包括ケアの推進における「かかりつけ医」の役割の重要性を確認し、「かかりつけ医」育成のため地域医療介護総合確保基金の対象事業に位置付けて普及定着の推進を図っていくとの答弁を得ました。

○医療事故調査制度の対象となる医療事故の定義に、医療に含まれないような「単なる管理」は含まれないことを再確認し、医療に関連しない管理がどのようなものなのかは具体的なガイドライン策定の段階で十分な議論を行うよう求めました。

○後発医薬品の安全性・有効性について、品質に関する情報提供の重要性や安定的供給のための環境整備の必要性を指摘しました。

○地域医療介護総合確保基金の継続的な財源の確保を強く求めました。

◇11月12日 参議院災害対策特別委員会

災害対策基本法改正について、道路管理者が放置車両や立ち往生車両の破損を含む移動を行うことが可能になった点を評価し、さらにJMATの位置付けの整理や、災害時の医療においてはヘリコプターの活用が有効であることから権限付与など迅速な対応のための環境整備を求めました。

◇11月13日 参議院厚生労働委員会 視察

労働者派遣法改正関係の視察として、労働局とNTTを視察しました。



主な活動(2014年)

- 9月 19日 茨城県医師会理事会(国政報告)
- 25日 山梨県医師連盟会議(国政報告)
- 27日 中国四国地区医師会総会(特別講演)
- 28日 中国四国医師会連合総会
- 10月 11日 小児科医会関東ブロック会議(国政報告)
- 12日 千葉県医師会館竣工記念祝賀会(祝辞)
- 18日 東京医科大同窓会神奈川県支部同窓会(国政報告)
- 18日 日本眼科医連盟協議委員会(国政報告)
- 20日 大阪府吹田市医師会懇親会
- 29日 国民医療推進協議会総会
- 11月 1日 日本医師会設立記念医学大会懇親会
- 8日 東京医科大同窓会新潟県支部同窓会
- 9日 北海道医師連盟都市代表者会(国政報告)
- 9日 北海道医師会創立67周年記念式典・記念祝賀会(祝辞)
- 15日 中部医師会連合委員会総会(国政報告)
- 19日 国民健康保険組合被保険者全国大会
- 20日 国保制度改革強化全国大会
- 20日 日本私立医科大学協会総会懇親会
- 22日 岐阜県医政活動研究会(講演)
- 22日 全国私立医科大学同窓会連絡会懇親会
- 26日 健康保険組合全国大会
- 27日 日本眼科医会・眼科学会合同委員会
- 29日 長野県医師会医療政策勉強会(講演)
- 12月 6日 福島県医師連盟医政活動研究会(講演)
- 6日 宮城県医師連盟講演会(講演)



- 12月 7日 東京医科大学同窓会長野県支部(国政報告)
- 11日 和歌山県医療推進協議会役員会(講演)
- 14日 東京医科大同窓会全体会議(国政報告)
- 18日 群馬県医師会郡市長会議・受章祝賀会(祝辞)



自由民主党内での活動

厚生労働部会の副部会長として、社会保障関係の部会を中心に精力的に活動しています。

社会保障制度に関する特命委員会・年金に関するプロジェクトチーム



9月26日、年金制度に関する今後の検討課題や、短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大について議論が行われました。

厚生労働部会



10月16日、国家戦略特区法改正案について議論を行い、医療法人の理事長要件の見直しについて、経営のプロが入れば経営状態はよくなるだろうが、それによる他の医療機関への影響など地域医療への影響を見出せるのかをしっかりと見てやってほしい、との意見を述べました。

政調全体会議・日本経済再生本部合同会議



10月17日、国家戦略特別区域法及び構造改革特別区域法の一部を改正する法律案(仮称)の概要について議論が行われ、医療法人の理事長要件の見直しと地域限定保育士については、地域医療へ及ぼす影響への懸念と地域限定の特区で取り扱う意味を問いました。

日本経済再生本部・規制改革推進委員会



10月23日、政府における規制改革の取組状況について担当省庁より報告を受け、医薬品のインターネット販売における偽薬の問題など、規制改革によって何が起こるのか、命にかかるものは取り返しがつかないという事をしっかりと見て議論をするよう求めました。

生殖補助医療に関するプロジェクトチーム勉強会



10月31日、体外受精の安全性に関する研究について専門家の先生方よりヒアリングと法案(最終案)についての審議が行われました。

厚生労働部会



11月4日、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の一部を改正する法律案(議員立法)について審議が行われました。

議員連盟等での活動

数々の議員連盟や勉強会に参加して活動の幅を広げて参りました。「医療基本法」や「成育基本法」など新たな議員立法の成立を目指しています。



手記～テレビからのあるストーリー～

American Greetings社が、母の日キャンペーンのために作成したものです。目にされた方々多くいらっしゃるでしょう。

「世界で一番大切な仕事は何?」という問い合わせ、企業面接構成のコミュニケーションです。

このタイトルをネットで見た人たちが、ビデオチャットで面接を受けるのです。仕事の条件はたくさん挙げられています。

- ・24時間立ちっぱなし
- ・薬、調理、金融学などの専門知識が必要
- ・週135時間以上の労働時間
- ・立ったままの食事もあり得る
- ・祝祭日には逆に仕事量の増加
- ・無給
- ・場面によって流動的な仕事

これらのインタビューを受けた人たちの反応は、
・非人道的だ
・こんな仕事が存在するのか?
と、当然の反応が返ってきます。

インタビューは、さらに続けて、この仕事の重要なところは、現場監督のようなものです。

そして最後に答えを言いました。

「その仕事は、お母さんです」と…

このインタビューを受けた人たちの反応は、涙を流す人たちも、自分が母親に受けてきた愛に対して「ありがとう」のメッセージを伝える人たちもいました。全員、驚きとともに、母親への尊敬・感謝の念を改めて気付かされたのです。

社会への女性の進出は進んでいますが、子育てをしながら家庭との両立は容易なことではありません。保育園に預けて働くとなると、働いた給与がほとんど保育費に消えてゆくケースも多いことでしょう。

このような状態で「たくさん子供を産みたい」と思う女性の増加が期待できるでしょうか。少子化現象が進み続けて行くのも当然のことと、多くの皆さん方が思うのも理解できます。

皆さん、一緒に少子化を考えましょう。

羽生田と国会を歩こう!

国会議事堂の見学や参議院議員会館の羽生田事務所へ是非おいでください。

本会議や委員会も傍聴できますので、事務所宛てお問合せください。



11月5日 自民党北橋支部

11月7日 宮崎県医師会事務局